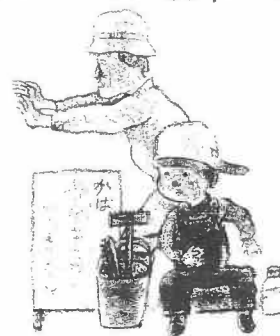


11月の 園だより



「つとむくんの かぼみかき」



令和3年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤由美子

太郎君が、次郎君が持っている電車を取ろうとしました。

二人はつかみ合いになっています。次郎君は電車をしっかり抱えています。

保育者が二人の間に入り聞きました「どうしたの？」

太郎君「これ欲しいよ！」

保育者「これが欲しかったの、貸してもらえるかどうか、聞いてみようか」

次郎君「だめ！み～んな僕のもの」と、聞く前に守りに入りました

保育者「今はダメだって・・・使ってるって」

太郎君「使いたいよお～～」 その声を背にして次郎君は電車を走らせ始めました。

太郎君は、周りを見回して近くに車を見つけ走らせて遊び始めました。

すると・・・次郎君が「これ使っていいよ」と電車を一つ差し出してくれました。

太郎君「うん、じゃあこれ・・・」と持っていた車を差し出しました。

次郎君は黙って車を受け取って、電車で遊び続けました。

この時、保育者は太郎君と次郎君の言葉を伝えただけでした、なぜかと申しますと、子どもたちが自分で考えるからです。

次郎君は、「だめ、み～んな僕のもの」と言った後で考えたようです。

「使いたい」という相手の気持ちが分かって、ちょっと譲歩してくれたのです。子どもの気持ちを伝えるだけにしておきますと、子どもは自分で考えます。

でも、保育者が「太郎君も使いたいから貸してあげてね」とか「おもちゃはみんなで仲良く使うんだよ」などと保育者が言ったとしたら、これは子どもの意思を抑えさせてしまうことになります。これでは子どもは自分で考えなくなります。

自分で考えて自分で葛藤し、自分で答えを出すことが大事ですから。この力が育たないと、大人の指示通りには動くけど、自分では考えない人間が育ってしまいます。子どもが自分で考えることができるように、大人は言葉を少なくするようにし、子どもの言葉を伝えるだけにしたほうがいいですね。これ、きょうだいげんかでも同じです。相手の気持ちを知ることができるように、お母さんが子どもの気持ちを代わりに言葉にして伝えましょう。子どもの気持ちの伝え役、それ以外の言葉は言わないようにしましょうね

11月の予定

日	曜	給食	降園時間	行	事
1	月	○	2:30		
2	火	○	2:30		
3	水	/	/	文化の日	
4	木	○	2:30		
5	金	○	2:30		
6	土				
7	日	/	/		
8	月	○	2:30		
9	火	○	2:30		
10	水	×	11:30	新入園児保護者会があります。降園時間が早くなります。	
11	木	○	2:30		
12	金	×	11:30	青陵幼稚園研修会です。降園時間が早くなります。	
13	土				
14	日	/	/		
15	月	○	2:30		
16	火	○	2:30		
17	水	×	11:30	誕生会です。11月生まれさんの保護者の方と一緒に祝いましょう。	
18	木	○	2:30		
19	金	○	2:30		
20	土				
21	日	/	/		
22	月	○	2:30		
23	火	/	/	勤労感謝の日	
24	水	○	2:30		
25	木	○	2:30		
26	金	○	2:30		
27	土				
28	日	/	/		
29	月	○	2:30		
30	火	○	2:30		